

本 編

1. 調査概要

1) 調査名

さいたま市見沼田圃自然環境調査

2) 調査対象範囲

図 1-1 に示す見沼田圃及び斜面林等その周辺環境を含む地域（平成 20 年度 さいたま市見沼田圃土地利用検討調査業務において策定した計画区域）

3) 調査期間

自) 平成 21 年 4 月 1 日 ～ 至) 平成 22 年 3 月 26 日

4) 調査目的

さいたま市の将来都市像である「見沼の緑と荒川の水に象徴される環境共生都市」の実現に向け、首都圏及びさいたま市において貴重な大規模緑地空間である見沼田圃について、環境資産としての重要性を明らかにし、今後の施策検討に反映していく必要がある。

このため、動植物の分布状況を把握すると共に、その他の自然条件や公園緑地、道路網等の社会条件を収集整理し、見沼田圃における「生態系ネットワーク」を検討することを目的とする。

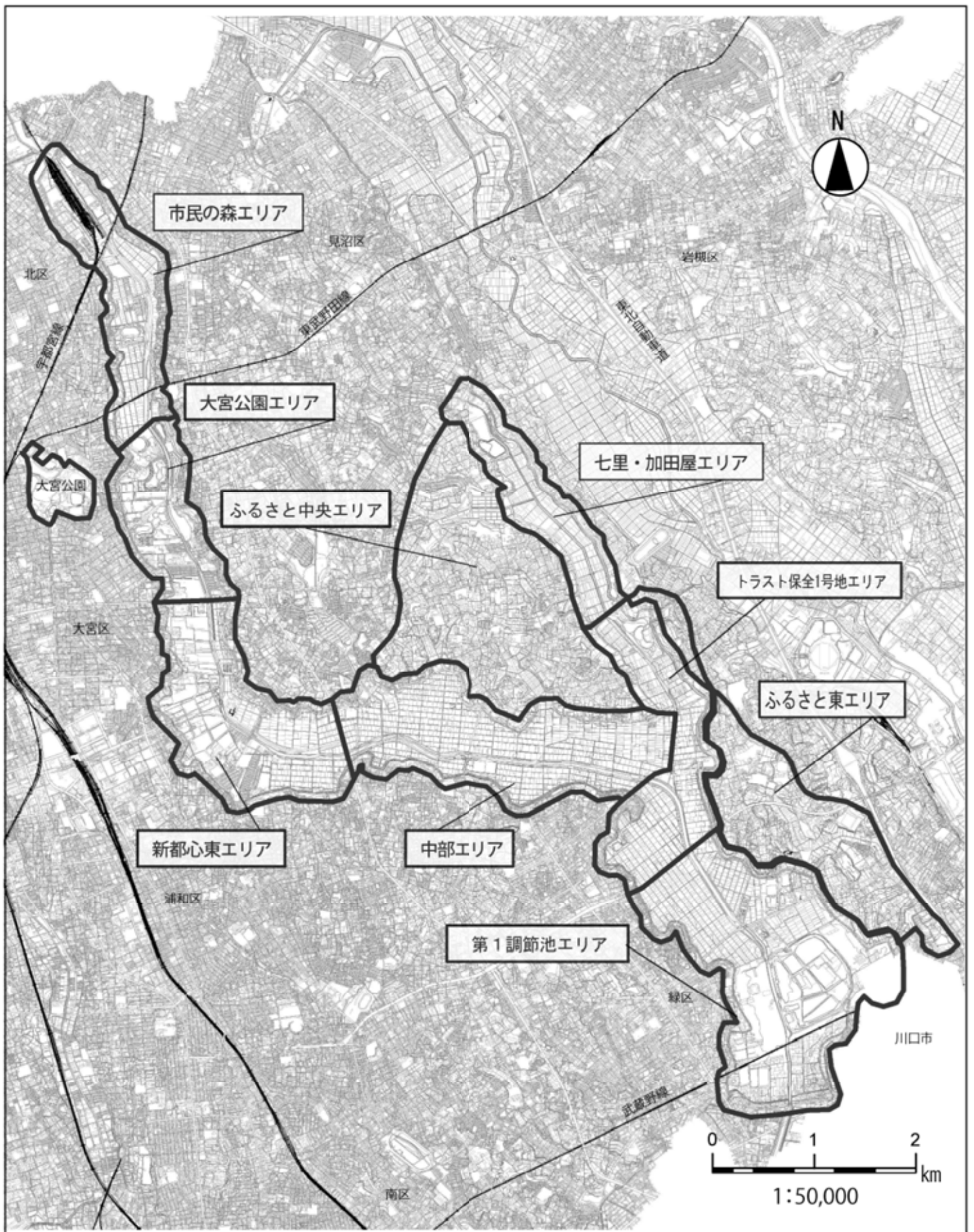


図 1-1 業務対象範囲

5) 調査内容

(1) 計画準備

調査の目的・内容を把握した上で、作業方針、作業工程等を立案すると共に、現地を踏査し、現地の状況等を踏まえて、適切な調査結果が得られるように、現地調査計画を作成した。

(2) 自然条件の収集整理

①文献調査・聞き取り調査

見沼田圃地域における既存文献調査資料に基づいて、動植物種等の全体的な分布状況や衰退あるいは絶滅状況を把握した。

また、必要に応じて、見沼田圃周辺の自然環境に詳しい地元の有識者等にヒアリングを行い、自然環境の状況について情報を収集した。

表 1-1 文献調査収集資料等

項 目	収集資料
植 物	環境省自然環境基礎調査報告書、現存植生図、空中写真、その他見沼田圃周辺における調査報告書 等
動 物	環境省自然環境基礎調査報告書、その他見沼田圃周辺における調査報告書 等

②現地調査

既存文献資料で得られた動植物記録に基づき、上位性、希少性の高い動植物種を中心に以下の項目の現地調査を実施し、最新の分布状況を把握した。各項目の調査時期は表 1-2 のとおりとした。

- ・植 生：春～秋 計 3 回
- ・植 物 相：春～秋 計 3 回
- ・哺 乳 類：春～冬 計 2 回
- ・鳥 類：春～冬 計 2 回
- ・両 生 類・爬虫類：夏と初春 計 2 回
- ・昆 虫 類：春～秋 計 3 回
- ・水生生物：春～秋 計 2 回

表 1-2 現地調査実施時期

調査時期 項 目		調 査 時 期					
		春季	初夏季	夏季	秋季	冬季	初春季
植 物	植生	●		●	●		
	植物相	●		●	●		
動 物	哺乳類		●			●	
	鳥類		●			●	
	両生類・爬虫類		●				●
	昆虫類	●	●		●		
	水生生物			●	●		

③社会条件の収集整理

土地利用、緑地の現況、法規制の状況等、見沼田圃に関連した社会条件を整理し、生態系ネットワークの将来像に向けた計画方針の基礎資料とした。収集資料の概要は以下のとおりとした。

表 1-3 社会条件収集資料等

項 目	収集予定資料等
土地利用の現況	地形図、土地利用現況図、都市計画図 等
法規制の状況	土地利用規制図、鳥獣保護区位置図 指定文化財地図 等
緑地の分布	さいたま自然公園・緑マップ 等
観光利用等	観光パンフレット、観光入込データ 等
その他	県および市の長期計画、環境基本計画 等

(3) 地図情報の収集整備

①動植物の基礎情報収集・整理

見沼田圃及びその周辺の動植物の基礎情報のうち、地図情報として整理できる資料を収集・整理した。

②基礎条件図の作成

収集・整理した資料をもとに、位置情報のあるものについては、GIS データ（マップクエスト）として整備した。動植物の基礎情報の他、その他の自然条件、社会条件についての関連情報についてとりまとめ、基礎条件図を作成した。

(4) 生態系ネットワークの検討

現地調査に基づく最新分布現況を把握し基礎条件図としてまとめ、基礎条件図に基づいて重要地域を抽出し、見沼田圃及びその周辺における生態系ネットワークを検討した。

生態系ネットワークの検討手順は、「4. 生態系ネットワークの検討」において詳述する。

6) 調査フロー

本調査は以下の業務フローに従って実施した。

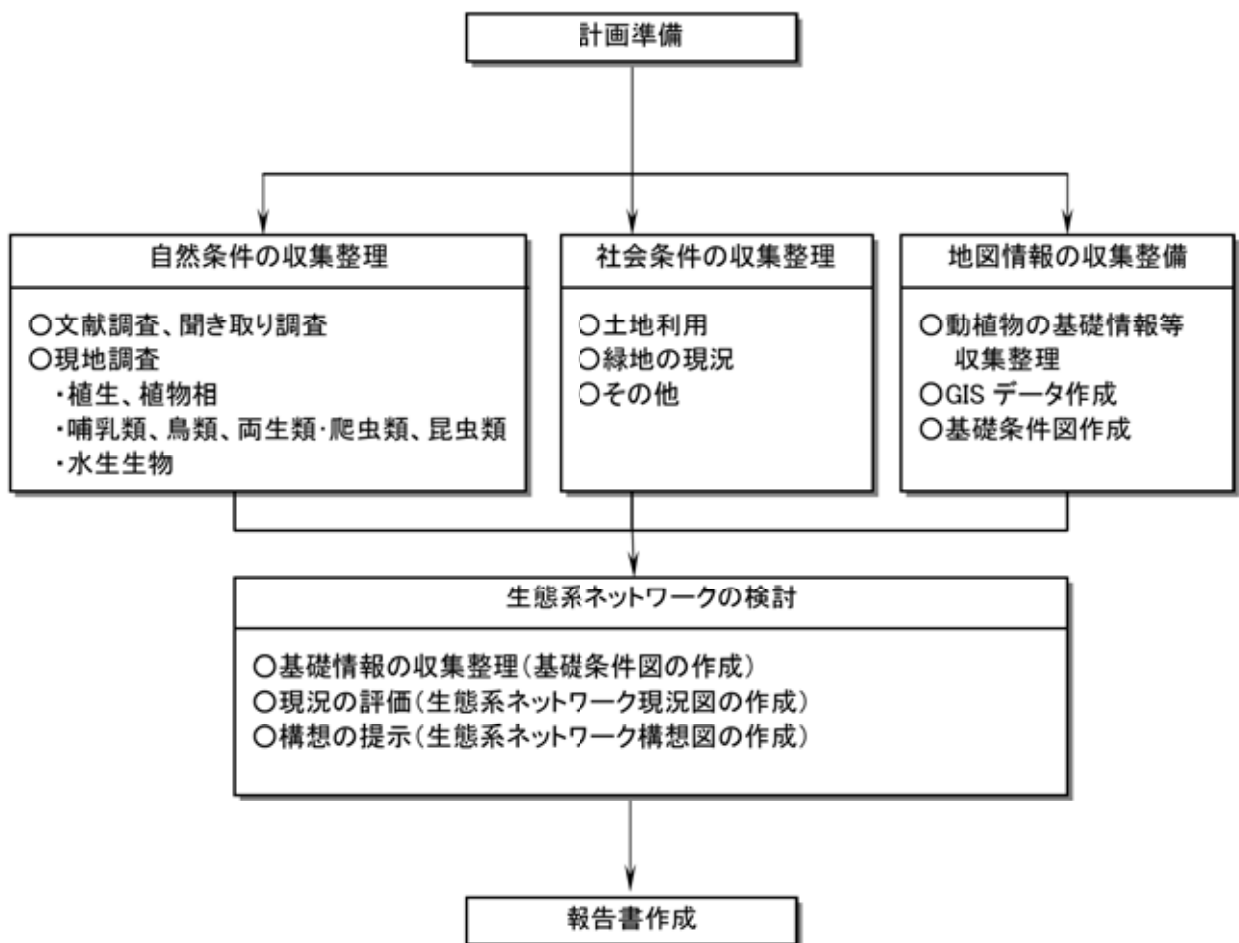


図 1-2 調査実施フロー